

1 調査概要

(1) 調査の目的

伊豆の国市内で活動している各種団体の活動状況や課題、提案、意見等を把握し、施策や事業を推進するための基礎資料とします。
 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、対面によるヒアリングではなく、アンケート方式により実施しました。

第2次伊豆の国市総合計画 団体アンケート

〈調査結果〉

(2) 調査の概要

- 対象地域 伊豆の国市全域
- 調査対象 市内で活動する団体（新体系の施策分野を考慮し抽出）
- 調査期間 令和3年2月12日～2月26日
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 回収数・回収率 回収数 22件（回収率 91.7%）

■調査団体一覧

No.	団体名	団体名
1	花咲く伊豆の国推進協議会	13 伊豆の国市体育協会
2	伊豆の国市商工会	14 伊豆の国市スポーツ少年団
3	伊豆の国市商工会青年部	15 伊豆の国市文化協会
4	伊豆の国市観光協会	16 NPO法人 伊豆学研究会
5	伊豆長岡温泉旅館協同組合	17 民生委員・児童委員協議会
6	伊豆の国市農業委員会	18 伊豆の国市をつなぐ育成会
7	伊豆の国市建設業協会（若手の会）	19 伊豆の国市精神保健福祉会 かの川会
8	伊豆の国歴史ガイドの会	20 シニアクラブ伊豆の国
9	伊豆の国市国際交流協会	21 やんちゃっ子クラブ
10	伊豆の国市友好都市交流協会	22 3世代ふれあいサークルcoco
11	伊豆長岡温泉ミライ会議	23 伊豆の国市消防団
12	伊豆の国市青少年活動推進委員会	24 中山間地まちづくり実行委員会

令和3年3月

2 調査の結果

(1) 団体の活動について

<p>○団体の活動内容【問2】</p> <p>花咲く伊豆の国推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議会会費が管理する公共花壇の整備 ○花飾り教室等の実施により、より多くの市民へ花と緑の普及活動 ○観光向上のための研修会の実施 ○花咲く伊豆の国フェアの開催 ○花の仲間作り 	<p>伊豆の国市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商會法（SBS年）に基づき国の認可を受けて設立された特別認可法人 ○地域内の事業者の経営の改善に関する相談と指導 ○地域内の経済復興を図るための諸活動と、社会一般の福祉の増進に資する事業 ○創業、事業継承、経営計画支援 ○国、市の施策の情報提供と活用支援
<p>伊豆の国市商工会青年部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商工会活動を通じて、部員たちのつながりの強化 ○地域イベントへの参加を通じて、地域との交流、地域のにぎわい促進 ○中学生を対象とした職業フェアを通じて、地域の抱い手強化、他業種の横のつながりを創出 ○地域における時事問題に対応し、地域経済の維持・継続活動 ○講演会や勉強会を通して、若手経営者である部員の能力の向上 	<p>一般社団法人 伊豆の国市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベント実施 ○観光宣伝実施 ○観光客の乗客 ○ICTを活用したPR ○観光案内所の運営
<p>伊豆の国市農業委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地法届出申請の受理 ○農地法許可申請の迅速 ○農業青年会加入推進 ○農地利用の最適化を促す ○人・農地プランの取りまとめ 	<p>伊豆の国市建設業協会（若手の会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建設業を取り巻く経営環境についての定期的情報交換 ○技術力・防災力向上のための研修会 ○被災地復興状況視察研修（各地被災者と直接意見交換） ○自治体行事への参加 ○地域貢献活動（例：葦山反射炉炉辺環境整備等）

<p>伊豆の国歴史ガイドの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○葦山反射炉への来訪客に平日・土日・祝を含め歴史的背景や施設内容を説明（休館日除く） ○江川駅、磯成跡、廻り島は、土・日・祝日に、来訪客へ歴史、建物、映像等をご案内 ○バスの団体や個人の予約客も市内の希望箇所へご案内している ○市からのガイド依頼がある時もお応えしている ○小学校からの依頼で出前授業や現地案内時も指導を行う 	<p>伊豆の国市国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国文化の紹介事業 ○在住外国人に対する日本語講座や文化の紹介、交流会の事業 ○住民に対する外国語講座の事業 ○国際交流の普及、啓蒙、紹介のための機関紙の発行 ○各種関係機関との連携事業
<p>伊豆の国市友好都市交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○姉妹都市：京都府伊豆長岡京市との市民交流 ○友好都市：モンゴル国ウランバートル市ソフネノハイムン区との市民交流 ○東京都八王子市元八王子地区との市民交流 ○市民を対象とした歴史講座の開催 ○各種事業・活動内容を発信するため、会報「かけはし」を発行 	<p>伊豆長岡温泉ミライ会議</p>
<p>伊豆の国市青少年活動推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内小学3～8年対象に体験行事を行う（お月見会、もちつき、野外炊飯など） ○他子ども団体への協力 	<p>伊豆の国市体育協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会員及び市民の健康増進と体育意識の向上を図るため、各種体育、スポーツ活動に関する大会を開催する ○各種大会等の共催及び後援をする ○体育、スポーツの底辺を拡大するため、各種スポーツ教室を開催する ○しずおかスポーツフェスティバル等の大会に協力する ○市事業に協力をする
<p>伊豆の国市スポーツ少年団</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サッカーを通して健全な心身の成長を目的とし、サッカーの普及と工場を目指す ○地域行事には積極的に参加 	<p>伊豆の国市文化協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内文化団体数、65団体相互の連携と親睦を図りながら、各々の活動を助長して、伊豆の国市民の文化向上に寄与している ○市民文化祭を市当局のご支援をいただき、会員同士の主体的な意思のもとに企画立案し、一般市民からも募集して開催している（一昨年は台風、昨年はコロナのため中止している） ○市内の各地域で催される、サロンや祭典、敬老会、また福祉団体・各種団体等のイベント等で、主催者から出展依頼があれば、お手伝いを兼ね積極的に派遣させていただいている
<p>NPO法人 伊豆学研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりの推進 ○観光振興 ○文化財の保護 ○福祉の増進 ○国際協力 	

<p>民生委員・児童委員協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らし高齢者等の見守り ○生活保護者の見守り ○市及び社会福祉協議会主催の福祉事業への参加協力 ○別棟小中行事への参加協力 ○福祉施設でのボランティア活動
<p>伊豆の国市手をつなぐ育成会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自立支援活動支援、地域生活共生社会の実現 ○知的障がい者相談支援、相談員研修会を、市、東部、県で実施 ○親子親睦 家族支援、要望、相談等課題の対応 ○障がい者の特性を正しく理解してもらい地域の人間からも理解を得る、行政の事業に参加する ○本人の主体性を活かした活動支援、料理教室、ボーリング大会
<p>伊豆の国市精神保健福祉会 かの川会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月定例の役員会開催（理事7名）会場：市役所六仁庁舎 ○会員同士が本音の話し合い会（随時年5回位） ○障がい者の家族の相談会 ○障がい者福祉課主催の3障がい者の相談会 ○精神障がい者を対象とした相談員の連絡会の研修会参加
<p>シニアクラブ伊豆の国</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな生きがいづくり（スポーツ、文化芸術、レクリエーション、旅行、研修等） ○安心、安全な日常生活を守る（交通安全教室・運動、遊戯者災害防止等） ○地域の絆を推進する活動（ボランティア、社会奉仕活動等） ○仲間づくり ○3支部協力体制と会員増強
<p>やんちゃっこクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て親子（未就園児）のふれあい事業 ○子育てに関する情報提供 ○習字相簿 ○地域の子育て支援ネットワークづくり ○子育てサークルの育成
<p>3.世代ふれあいセンタークル0000</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊豆草園温泉 お祭り市参加 ○月一回サークル活動（現在はブロックトークのようなおこなうことを実施） ○世代を超えた交流（地域も限定していません）
<p>伊豆の国市消防団</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火活動 ○捜索・救助活動 ○水防活動 ○水災害防活動 ○秋祭り聖会
<p>中山間地まちづくり実行委員会</p>

○活動において困っていること、課題等 【問3】

<p>花咲く伊豆の国推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化による後継者の育成が大きな課題
<p>伊豆の国市商工会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小規模事業者等が経営者の高齢化を迎え、事業継承に追われていること。それに伴い廃業で減ってしまい、地域経済に打撃を受けること ・職員の人数が揃えない中で、相談の内容がより高度化、多様化しており一案件につき時間を要してしまう
<p>伊豆の国市商工会青年部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの地域にも言えることですが、後継者不足や若い人材の経営者不足を感じる ・商工会青年部組員の減少などによる活動の制限が発生している ・自身の団体での活動ではなく、連携をすることにより更に地域課題の打開策が生まれるはずだが ・青年部員自体が、補助金、制度、地域の時事課題、市政などに対する意識がまだ低い
<p>伊豆の国市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSでのPRRにおける回復UP ・団体客から個人客への観光客セグメントの変化 ・他因子による観光客の大幅な減少
<p>伊豆長岡温泉旅館協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員数の減少 ・観光客の減少
<p>伊豆の国市農業委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新作放棄地の解消があまり進まないこと ・後継者不在農地の掘り手探しが進まないこと
<p>伊豆の国市建設業協会（若手の会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でほとんどの事業が行えない
<p>伊豆の国歴史ガイドの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド会員の多くは、定年退職者が多いため、高齢化している ・広範囲で探検や個人的にガイドへの誘いをしているが、なり手が少なく絶対数が不足している ・ガイドがお客様に接する面白さ、楽しさを伝え、男性・女性・60歳代の若い人への入会を希望している
<p>伊豆の国市国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな団体であるために、活動の規模が限られること ・協会員の人数が増えているために、活動が大きすぎてできないこと ・行政からは（補助金などの援助はあるが）独立した協会であるために、活動に限界があること ・協会員の高齢化がすすんでいること ・活動が住民に十分知られていないこと（＝協会活動への参加者や会員が増えないこと）
<p>伊豆の国市友好都市交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が、姉妹都市・友好都市との相互訪問や人的交流や、歴史講座の開催、各種イベントへの参加などであるため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にもない、ほぼすべての事業を中止せざるを得ない状況となっている ・会員の高齢化も進んでいることから、新規会員の加入を促進したいが、やはり新型コロナウイルスの影響により、初訪の機会自体がない状態である

シニアクラブ伊豆の国	伊豆の国市全体のスポーツ大会・催しもの・研修会等の会場への移送の問題 ① 会員の高齢化により自家用車の利用が難しくなっている ② 公共交通機関の利用がしにくい ③ くぬぎ会館について…会場が手狭、大規模バスが入れない、高齢者にとっては坂道が登れないなど やんちやっ子クラブ ・子育てフリートートークサロン事業（月2回程度、前期10回・後期10回開催）の実施にあたり、子育て中に事業に参加した人が、子どもの就園後にスタッフとして参画することで担い手を育成してきた好事例であるが、就園後に就労を考える世帯が増え、機能的な担い手不足となっている また、近年子どもの成長や発達の違いは多岐に渡り、専門的な育児相談に添えることのできる専門性のあるスタッフの不足している。また会議として長年使用してきた江間防災センターについて、壁や壁の老朽化や、急勾配な階段など、未就園児や妊婦に最悪とは言えない
3世代ふれあいサークル 0000	特になし
伊豆の国市消防団	・年々、団員の減少が著しいため、有事の際に出動できない可能性がある ・建物や火の見櫓といった構造物の経年劣化がみられる
中山間地まちづくり実行委員会	

●共通する課題	赤字：会員の高齢化 赤字：後継者不足（共働き家庭の増加、定年延長や再就職の増加、出産後早期の職場復帰等） 赤字：活動資金不足（補助金頼り、無償ボランティアの限界等）
●その他：黄ライオン	・相談内容が高齢化、多様化してきており対応が困難である ・活動の拠点としていた公共施設の老朽化が進んでいる ・専門性を要するため、スタッフの確保が難しい ・会員の高齢化により、交通手段の確保が難しくなっている ・他団体との連携が進まない

伊豆長岡温泉ミライ会議	
伊豆の国市青少年活動推進委員会	・コロナにより年間行事が立てにくい ・大河ドラマにより施設予約ができない ・コロナによりリソースの減少（行事時）
伊豆の国市体育協会	・加盟している競技団体構成員の高齢化 ・若い世代の加入者の減少 ・スポーツ競技の多様化、個別化が進み、協会への加入者が少ない
伊豆の国市スポーツ少年団	・子供が少なくなってきた事
伊豆の国市文化協会	・10月から時代劇場が使用できなくなると、発表会場はアグレンに頼るしか残らない、しかし使用料が高額のため、特にステージ・舞台を必要とする文化協会専門部の単独行事は困難になる。 芸能3部門による「ふれあい祭り」や、「田文連文化祭」を開催する場合は、使用料を時代劇場並みの料金にしていたためか、費用面で開催不可能になる恐れがある。 特に伊豆市・沼津市・沼津市一町の輪番制で3年度当番会にあたり、4年2月開催予定している「田方文化祭」は、アグレンを会場とするが、発表会場等を稼いでいたとき、今後の文化活動に支障のないよう時にお願する ・文化団体の練習・稽古場としていた公共施設の減少（売却・解体・目的変更等）により、施設確保に難儀している部を会員から聞く。夜間閉鎖している図書館の閲覧室や、反射炉ガイダンスセンターなどはミーティング室同様、市民の活動場所として開放できないか。また、観光客専用の施設になっても、市長選先デマーを稼いで、従来のようなステージのあるホールとして貸し出すなど、観光客・市民の多目的利用施設には出来ないか
NPO法人 伊豆学研究会	・資金の確保 ・政府の働き方改革により、退職後も働く人が多くなくなりボランティアや活動の担い手ができないこと、後継者が育たない
民生委員・児童委員協議会	・退職（定年）年齢が60歳からそれ以上に延伸している状況であり、仕事と両立しての活動は、なかなか困難であり、また、原則75歳以下という年齢基礎があり、なり手不足への対応が課題である。無償のボランティアという形には、限界があると感じる
伊豆の国市手をつなぐ育成会	・会員の減少 ・会のメリットを理解しない ・障がい者、老人の交通手段がなく集会ができず ・本人の所得保障
伊豆の国市精神健康福祉社会 かの川会	・かの川会のメンバーが高齢化している ・新しい会員の入会が少ない ・障がいをもっている当事者の病状回復が大変難しい ・障がい者対象のグループホームの建設（現在1ヶ所のみ）

○今後の展望、目標【問4】

<p>花咲く伊豆の国推進協議会</p> <p>市内の随所に花が落ち、心からぐ衝づくりを大きな目標としている。会員増強に努む花の輪を広げていく活動を続けていきたい。</p>
<p>伊豆の国市商工会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の経営者の事業引き継ぎの支援 (M&Aも含めて) ・中小企業強靱化法における本会の「事業継続力強化支援計画」の策定と実施 ・市内の中小企業支援のための伊豆の国市商工会経営者支援事業の推進 ・伊豆の国市と連携した②③の計画策定と実施
<p>伊豆の国市商工会青年部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、商工会員の若手の動員によって部員の増加をはかり、青年部活動の幅を広げる ・若手経営者が活用可能な、意義のある事業を展開していきたい ・各所属者のスキルアップにつながる勉強会やイベントの実施 ・担い手不足の解消や、職業教育に対応するべく、職業フェアが継続可能な体制を構築する
<p>一般社団法人 伊豆の国帯観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの有効な活用 ・効果的なイベント内容の検討 ・大河ドラマでの露出 ・他地域・他団体との連携
<p>伊豆長岡温泉旅館協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員に対しての協同組合としての支援
<p>伊豆の国市農業委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内全ての人・農地プランの実質化を行う
<p>伊豆の国市建設業協会 (若手の会)</p> <p>当会では、会員全員が災害対応を常に意識しながら事業に取り組んでおります。有事の際、どこの近隣市町よりも早く応急対応を行うことを目標として、様々な研修会を設け、意見交換を行っています。</p>
<p>伊豆の国歴史ガイドの会</p> <p>2022年NHK大河ドラマ北条徳時が主人公の「鎌倉殿の13人」が放映される。お客様が増加が予想され、また足を運んでほしい、喜んでほしい、案内したい、ご案内したいお客様が令和元年11月に18万目で100万人達成できた。この機会を捉え、お客様がよく分かったよと喜んでほしいながら150万人を目指したい。</p>
<p>伊豆の国市国際交流協会</p> <p>人口減少になっていく中、外国人の移住や、外国文化などの流入は今後増えていくものと期待されます。交流、相互理解をすすめる、よりよい共存社会を作っていくことを国、地方とも求められるでしょう。</p> <p>① 当協会においては、会員数の増、幅広い年齢層の会員増を図る必要があると見ます</p> <p>② 協会単独ではなく行政 (からの支援もしくは共同事業) との協働が必要になるとおもいます</p>

<p>伊豆の国市友好都市交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによるミーティングなど、直接的な交流以外の手段も取り入れ、これまでの交流が途絶えないように努めたい ・2022年の大河ドラマ放映に向けて、市内での、市民を対象にした史跡巡りウォークなどの事業実施を検討する ・東京オリンピックが開催された場合は、モンゴル国柔道ナショナルチームの来訪時に、さらに交流を深める活動に協力する
<p>伊豆長岡温泉ミラリエイ協会</p>
<p>伊豆の国市青少年活動推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも影響しない行事内容を行う
<p>伊豆の国市体育協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの持つ楽しさ、仲間づくり、生きがい、体力作りなどを目的として市民とともに様々な行事に参加してもらえようとする事業を企画していく ・加盟団体に対する活動の促進助成支援 ・子供や普段スポーツに親しむ機会の少ない方への教養開催 ・誰もがスポーツに親しめる環境づくり
<p>伊豆の国市スポーツ少年団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しいサッカー、スポーツを目指す ・自分で考えての行動をさせる
<p>伊豆の国市文化協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代、価値観が多様化している社会現象のなか、生涯学習の延長の場として、更によりカレント学習の場でもある文化協会としては、年齢にかかわらず、さまざまな分野で指導・お世話していただけたら嬉しい人材を求め、子供から人生を渡るまで活動を続けられる多くの市民が、気軽に参加できる団体に行きたい
<p>NPO法人 伊豆学研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した活動を問題を持った人と一緒に行っていきたい
<p>民生委員・児童委員協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の身近な見守り役」として、一人暮らし高齢者の見守り等、関係機関へのつなぎ役として地道な活動を継続していきたい
<p>伊豆の国市手をつなぐ育成会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親なき後の生活について、 ・ショートステイ施設の充実 ・会員の増強
<p>伊豆の国市精神保健福祉社会 かの川会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者に対する一般市民の方に理解してもらおうためのいろいろな方を勉強中 ・市役所職員の職場の移動は止むを得ないと思いますが精神保健福祉分野には専門的知識が必要と思えます。同じ職場で専門的保健師さんとか資格をもった職員の方を養成してほしい
<p>シニアクラブ伊豆の国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の増強を図るにはどうしたら良いか。活動内容等について検討することが必要

やんちゃっこクラブ

with コロナ時代に子育て中の親子の孤立や子育てへの不安は進行していると言え、感染症対策を徹底した上での有効な開催方法を模索しているところである。
 子育てを市民同士で支え合う土壌は、子育て中の経験から育成されるものであり、『さわれれしかかったことをしたい』という支援者の好循環を絶やさないことが重要と認識している。
 親の就労再開時の子どもへの年齢は低下しており、家で子どもをみる、地域で子どもをみる貴重な時間を、伝統遊びの継承や地域の支援を模索する場、園活動とは違う『おしゃべり』を楽しめたい。

S世代ふれあいサークル eoco

大げさなことをやるつもりはなく、eoco を必要としてくださる方が、eoco を見つけて、『時々でも参加できるとうれしい』と言ってもらえればそれで充分。
 『居場所』としてより、『休憩所』のような立場であり、スタッフはそこにとたまたま居合わせたい人。くわいのスタンスです。

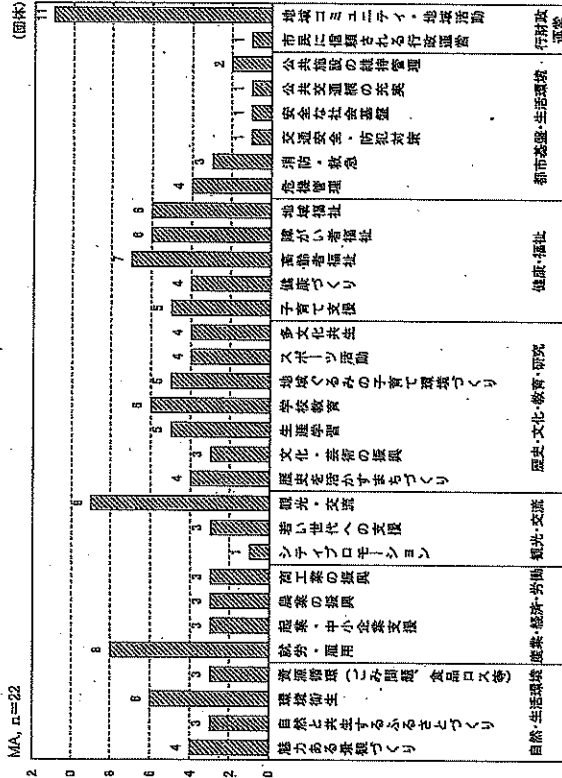
伊豆の園市消防団

団員の減少は免れないため、団員確保対策をしながら、詰所・車両の適正化を図っていく。

中山間地まらづくり実行委員会

(2) 市政について

○団体の活動に関連する分野【問5】



●キーワード
 ・コロナ禍(ウィズコロナ)、アフターコロナ(ポストコロナ)における活動
 ・2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を意識した活動
 ・「地域」に根差した活動、「地域」での風守り
 ・人材の育成(専門性、リーダー等)、事業の継承
 ・人生100年時代、リカレント学習
 ・SNSの活用、オンラインによる活動

○市に対する意見・要望、活動の中で協力できること【問6】

ご意見・ご要望	協力できること
1. 魅力ある景観づくり ・他市町村のよい事例を取り入れたい 【歴史ガイドの会】	
5. 就労・雇用 ・職業教育や専門学校士の数の減りがりに為に実施している職業フェアは、専門学校主体での事業継続は困難であるため、行政や学校と協働したい ①⑤ ・障がい者の就労及び資金 【手をつなぐ育成会】	・移住支援と連携し、移住者の就業支援を行う 【農業委員会】
7 農業の振興 ・新規就農者に対する営業支援や後継者不在農地の担い手確保及び耕作放棄地化の防止を行う 【農業委員会】	
8. 商工業の振興 ・より多くの市内商工業者への本会事業活動の紹介 【商工会】 ・創業と事業承継の支援の広報 ①④⑦ 【商工会】	
11. 観光・交流 ・集客を確定的にするために、市全体をPRし続ける事業を積極的に考えていただきたい 【観光協会】 ・見やすく分かりやすい案内表示が不十分 【歴史ガイドの会】	・伊豆の国市観光協会のHPはヒット数も多い。そのページから情報発信を行う 【観光協会】 ・お客様が目線で見てください。協力します 【歴史ガイドの会】 ・観光、交流イベント等に、モンゴルク文化紹介ブース等を出展 【友好都市交流協会】
12. 歴史を活かすまちづくり ・豊富な歴史資源を運点で活かしたい 【歴史ガイドの会】 ・文化財調査の結果の発表、展示の場の提供・調査活動を一緒にできればお願いしたい ⑨ 【伊豆学研究会】	・歴史財源の共同財源 【歴史ガイドの会】 ・市主催の講演会等にスライドなどとして協力 【友好都市交流協会】
13. 文化・芸術の振興 ・市民文化センターを行政からの人的支援はお願いできないか？ 近い将来、文化協会でお受けすることは難しくなる 【文化協会】	・高齢化という社会現象を受けてか、近年会員並びに所属団体数が減少している。更に役員の受け手がなく企画立案、実施に至るまで大変である。行政側の知力・体力を要請する 【文化協会】
14. 生涯学習 ・芥断っ子ひろばの利便性の充実 【青少年活動推進委員会】 ・地域内で簡単な習い事をしたくても会費や指導者が負担されない 【シニアクラブ】	・助言など 【青少年活動推進委員会】 ・準備、共に学習すること 【シニアクラブ】

15. 学校教育 ・子供達が自分のふるりの歴史を語る教育を 【歴史ガイドの会】 ・外国人子女への教育体制の充実 【国際交流協会】	・必要に応じて、現地にきてお話ししましょう 【歴史ガイドの会】 【国際交流協会】 ・就学に当たっての支援
16. 地域ぐるみの子育て環境づくり ・障がい者に対する地域での理解 【手をつなぐ育成会】	
17. スポーツ活動 ・気軽に利用出来る会場が無い。用具の貸し出しなど 【シニアクラブ】	・準備、共に学習すること 【シニアクラブ】
18. 多文化共生 ・外国人への日本文化や、社会情報の広報 ・行政側にも居住外国人への窓口の設け 【国際交流協会】 ・外国人の居場所・イベントの告知・資金援助 【伊豆学研究会】	・運営などの協力 【国際交流協会】 ・これまで同様、モンゴルクとの交流が行われる機会に協力する 【友好都市交流協会】
19. 子育て支援 ・育児相談に関する専門職の参画について担当職に協力してほしい 【やんちゃっ子クラブ】	・育児不安を抱える参加者に関する情報提供 【やんちゃっ子クラブ】
20. 健康づくり ・気軽に利用出来る会場が無い。用具の貸し出しなど。他に指導者とその手当の確保 【シニアクラブ】	・準備、共に学習すること 【シニアクラブ】
21. 高齢者福祉	・県福連携を行う 【農業委員会】
22. 障がい者福祉 ・障がい者の高齢化、親なき後の地域生活 【手をつなぐ育成会】 ・奨励会員として令和2年度は（民生委員児童委員）98名の方に支援いただいております。今後どのような連携して活動するか課題として残っています。様々です。 【精神保健福祉会 かの川会】	・県福連携を行う 【農業委員会】
23. 地域福祉 ・民生委員への個人情報の開示について、協力してほしい ②③ 【民生委員・児童委員協議会】	・一人暮らし高齢者や生活保護者や障がい者の見守りを依頼されているが、提供される情報が原因と感ずる ②③ 【民生委員・児童委員協議会】
24. 危機管理 ・企業のBCP計画作成支援の広報 ⑤⑥⑦⑧ ・危機管理課・建設課等と定期的に意見交換を行いたい 【建設業協会(若手の会)】 ・外国人への安全、安心の情報発信 ④ ・災害時の町外炊飯指導 【青少年活動推進委員会】	・引き継ぎ有事の際の応急対応 【建設業協会(若手の会)】 【青少年活動推進委員会】 ・指導・行事

25 消防・救急	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練のための施策（報酬の増額、資機材の整備） [市消防団] ・ 引き継ぎ消防フェスタへの参加 [施設整備協会(若手の会)] ・ 自主防への防災指導、地域行事での整備等 [市消防団]
28 公共交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者のタクシー券の充実、通常の半額とか [手をつなぐ育成会]
29 公共施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設使用料の減免制度を設けて欲しい [文化協会] ・ 例年、志山区射野周辺環境整備ですが、他地区 の公共施設でも、依頼があれば参加 [施設整備協会(若手の会)] ・ 補助金をいただいている団体ですが、アグリス 使用料の減免をお願いしたい [文化協会]
31 地域コミュニティ・地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の公民館等の花壇に活動を広げていき たい [花咲く推進協議会] ・ 子ども会活動の活性化 [青少年活動推進委員会] ・ コミュニティカフェをうまく活用して地域振 興を考えているので広報活動に協力してほしい [伊豆学研究会]

○数字は、その他関連分野

<ul style="list-style-type: none"> ● 行政へのおもな要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的支援、行政との協働・連携 ・ 情報の共有 ・ 資金援助（会費等の補助、交通費の補助、報酬、用具の貸出等） ・ 広報の協力、情報発信の強化 ・ 公共施設の充実 ● 団体として行政に協力できること <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体が持つ情報の共有 ・ 行事やイベント運営への協力（スタッフ、指導等） ・ 広報や告知、情報提供の協力
--

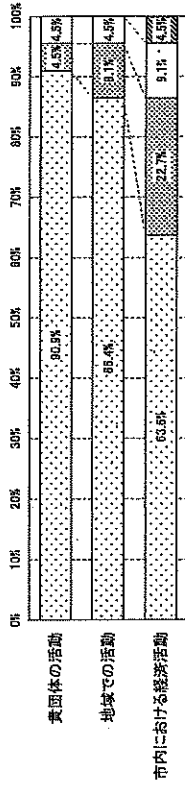
○市の課題に対して協力できること 【問7】

1 伊豆の国に仕事を増やすこと 協力できること	<p>既存企業の活性化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産者の6次化や販路開拓支援 (BtoB, BtoC) ・ 商工会青年部には様々な職種の人材があり、その目的にあった支援が可能 [商工会青年部] ・ 令和3年度から本格的に取り組んでいくSNSの活用 [観光協会] ・ 農地パトロールによる耕作放棄地の未然防止及び改善 [農業委員会] ・ スマート農業・耕作放棄地対策を大規模な事業化とすれば、デザインビルド方式等に して協会の [施設整備協会(若手の会)] ・ 一括受注し、スケールメリットを果敢に取ります [伊豆学研究会] ・ ログハウジング大会の実施。市内店舗や施設との協力関係の構築を促進する [伊豆学研究会] ・ ICTを使って商業地産、観光事業の活性化 <p>新たな雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の求人紹介 ・ 市内小規模事業者の事業承継のM&A ・ 創業塾の開催 [商工会] ・ 新規就農者への就業地紹介、交渉手伝い [農業委員会] ・ 就職(転職)フェアの伊豆の国市版のようなものをやっていただければ協会として協力します [施設整備協会(若手の会)] ・ 各分野の青年団を活用しては、伊豆中央道路の通過を止めなくては？ 今は強いと思います。市に県外ナンバーをおろす事を何とかしなくては [スポーツ少年団] ・ 伝統産業の復活により、地域密着の仕事を作る [伊豆学研究会]
2 伊豆の国市に新しい人の流れをつくる 訪れる人を増やす取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花によるおもてなし、訪れる人が心穏やかに [花咲く推進協議会] ・ 「健健隊の18人」推進協議会への協力 [商工会] ・ 商工会青年部として、ゆるキャラ等を活用したPRを随時行っている。その中で伊豆の国市の PR活動をしていく事は可能 [伊豆学研究会] ・ 商工会青年部として他地区との関わりがある為、その中で交流人口増加に向けたPR活動をして いく事は可能 [観光協会] ・ 大河ドラマを活用した集客 [商工会青年部] ・ 令和4年からの宿泊場、眞氏山の活用(トンネル)。古奈・長岡温泉場の一方通行化 [伊豆学研究会] ・ かわまちづくりを大規模な事業化とすれば、デザインビルド方式等に [伊豆長岡温泉旅館協同組合] ・ スケールメリットを築取ります [施設整備協会(若手の会)] ・ 大河ドラマ北条義時跡地(北条領跡、北條寺など)の来訪者への案内で可能な方法なら対応 が可能 [歴史ガイドの会] ・ 長岡市・八王子市・モンゴル国との交流の中で、伊豆の国市に来訪された際に協会として 歓迎するとともに、市内観光・視察等を実施する [友好都市交流協議会] ・ 各種スポーツ大会に市内、県外からの参加を求めている [体育協会] ・ 伊豆の国市は、温泉がある所、どんなスポーツでもよいので、施設を作り、企業・大学・高校 の合宿や旅館の組合せを考えてはどうでしょうか [スポーツ少年団] ・ 高速を下りて国・県道を通っていても、伊豆箱根鉄道で伊豆箱根駅まで来ては賑わいがないか。 [伊豆学研究会] ・ が見えない。原木区圃辺は伊豆の国市の東の玄関口としては賑わいがないか。 「ようこそ伊豆の国市・義仲のふるさとへ」等、また、箱根駅にお礼の挨拶「またのお越しを…」 位の看板を出す事は出来ないか? [文化協会] ・ コミュニティカフェで観光案内 [伊豆学研究会] ・ ソーシャルメディア等で発信する、SNSで発信記事の共有 [3世代ふれあいサークル coco]

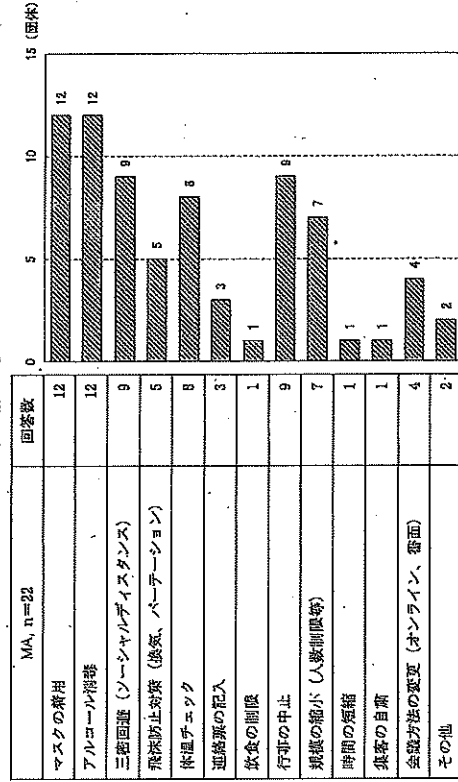
○新型コロナウイルス感染症の影響【問8】

(形態)	大いに感じる		少し感じる		あまり感じない		まったく感じない		わからない		合計	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
SA, n=22												
集団での活動	20	90.9%	1	4.5%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	22	100.0%
地域での活動	19	86.4%	2	9.1%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	22	100.0%
市内における経済活動	14	63.6%	5	22.7%	2	9.1%	1	4.5%	0	0.0%	22	100.0%

ロ大いに感じる ロ少し感じる ロあまり感じない ロまったく感じない ロわからない



○新型コロナウイルス感染症への対策【問9】



移住・定住を促す取組の強化

- ・事業所の雇用の紹介
- ・居住移住区域で分譲造成等を大規模な事業化とすれば、デザインビルド方式等にて協会一括受注し、スケールメリットを發揮できます
- ・幼少期の思い出を胸にふるさとを考へ、帰省のきっかけになる
- ・自転車競技者やサイクリストが来たくなるような環境を作り、自転車協会
- ・コミュニティカフェの活用、市の交流会等で利用して下さい
- ・交流会などに参加する

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 結婚・出産しやすい環境の整備
- ・子育て不安の軽減のため、子どもが自由に遊びを繰り広げ、その姿に親がほっとしたくつろぎのひとときを待てるようなサロン作り
- ・子育て支援を通じた支援者と地域をつなぐネットワーク作り
- ・イベントでのワークショップなどへ参加
- ・パパママ学級などでの交流

子育てに対する支援の強化

- ・外国人子女に対する、例えば日本語教育、文化の紹介
- ・子どもの居場所作り
- ・地域での子供の集まり、放課後児童クラブの指導補助
- ・乳児や障がい児も、手伝えることはあるかもしれません

4. 時代に合った住みよいまちをつくる

健康を維持する取組の強化

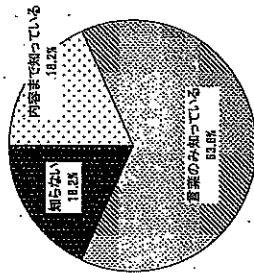
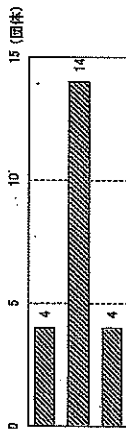
- ・居場所づくりとして、引き継ぎベンチプロジェクト
- ・スポーツに親しみ、健康や生きがいを持てるようにする
- ・我々運営するコミュニティカフェは高齢者が中心になっています
- ・市主催の居場所づくり
- ・自立支援医療費 (精神通院) 受給者所持者の数が増加の傾向にあり、課題として取り組んでいく
- ・何か行政で企画するものがあればそれに参加、もしくはアンケートなどで協力できるかもしれません

持続可能なまちづくりの推進

- ・個々の企業のBCP計画の作成支援
- ・地域防災 → 各社現場周辺住民とのコミュニケーション
- ・地域防災 → 引き継ぎ災害協定の遵守
- ・外国人に対する、地域防災の紹介、安全の紹介
- ・部屋、教室の隣接、相談場所の窓口として、市とのつながりになれると思います
- ・一人暮らし高齢者等の見守り
- ・災害時の避難行動要支援者の支援についての協力
- ・地域の防犯 → 巡回見回り
- ・空き家対策 → 巡回見回り
- ・交通安全 → 街頭広報
- ・何か行政で企画するものがあればそれに参加、もしくはアンケートや意見などで協力できるかもしれません
- ・地域に根差した防災力の向上、被災に向けた地域への働きかけ

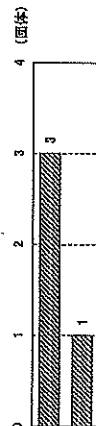
○SDGsの認知度等【問10,11】

SA, n=22	回答数	割合
内容まで知っている	4	18.2%
言葉のみ知っている	14	63.6%
知らない	4	18.2%
合計	22	100.0%



(前問「内容まで知っている」と答えた団体のみ)

LA, n=4	回答数	割合
意識して活動している	3	75.0%
意識して活動していない	1	25.0%
合計	4	100.0%



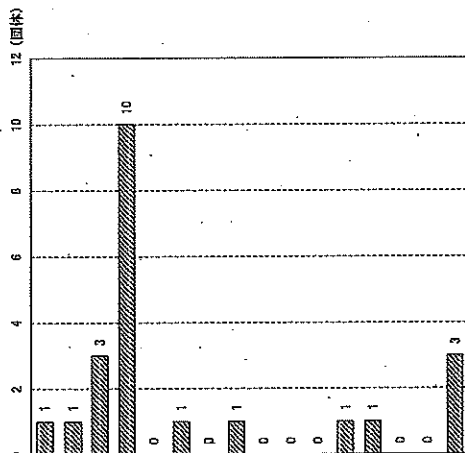
○市政全般についての意見等【問12】

伊豆の国市商工会青年部	団体ごとの職のつながりが強化で、地域力の向上をはかれるよう、行政の窓口・担当者サイドでも連携の共有や、担当職ごとの外とのパイプが連携できるような体制づくりをお願いしたい。
一般社団法人 伊豆の国市観光協会	SNSの情報発信に注力していくことが必要と考える。
伊豆の国市建設業協会 (若手の会)	建設業協会はコロナによる離職者含む、雇用の受け皿として、地域雇用を支えていく覚悟があります。そのために事業継続が不可欠です。働き方改革の抑制をしないようお願いいたします。
伊豆の国市国際交流協会	・当市においても、外国人は多いと聞いています。別途の窓口がそろえる必要ではないでしょうか ・些細なことですが、他市では、居住外国人の状況(人数、国など)を積極的に広報しています。当市でも定期的にも広報してほしいです
伊豆長岡温泉ミライ会	
伊豆の国市青少年活動推進委員会	・市内に特別支援学校があるので、事業所の誘引 ・施設の利用方向性が変わるのなら、決まる前に連絡を頂きたい
伊豆の国市体育協会	・住民が気軽にスポーツに親しめる誘導を整備し、いつでも、たれども楽しく元気に過ごせるような施策を求めます ・施設の利用を促しやすいようにしてほしい
伊豆の国市文化協会	・前項で触れたが、市名のついた駅名は全国どこにもあるが、伊豆の国駅はない。伊豆を冠にした駅名は数カ所有り、観光客は「伊豆仁田」駅から伊豆に入っと思っっている人も車内で見受けられる。又、高速・国道を走って来ても「伊豆の国市」の道路標識は皆無に近い ・伊豆長岡駅から三島よりには、農道等の幅より狭い伊豆箱根鉄道の踏切が何か所がある。行取の方は通ることはないのか?道路幅に広げることには難しいのか? (以上は文化協会とは関係のない個人的意見です。)
伊豆の国市精神保健福祉社会 かの川会	静岡県内における精神保健福祉の取組みの伊豆の国市がモデルとなるような効果をあげたい。
3 世代ふれあいサークル coco	市民は自分の生活に一生懸命で、市政をふり返る機会が少ないと思います。自分の生活がある程度固まることなく送れているのは、尚。そこに、どのように市民から多くの意見をもらえるかを考えて、HPや市報、SNSなどの発信に力を入れてもらいたい。TOPには常に新しい情報を。そのためにも市の職員さんがまず、市政に興味をもつことが必要なのではないでしょうか?
中山間地まちづくり実行委員会	

(3) 団体の概要について

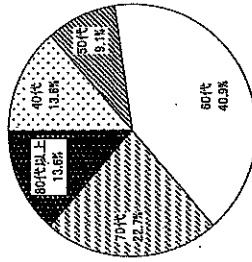
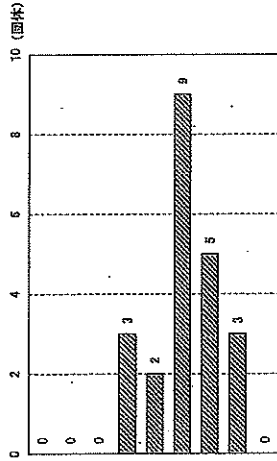
○活動年数【問13】

SA, n=22	回答数	割合
0-4年	1	4.5%
5-9年	1	4.5%
10-14年	3	13.6%
15-19年	10	45.5%
20-24年	0	0.0%
25-29年	1	4.5%
30-34年	0	0.0%
35-39年	1	4.5%
40-44年	0	0.0%
45-49年	0	0.0%
50-54年	0	0.0%
55-59年	1	4.5%
60-64年	1	4.5%
65-69年	0	0.0%
70-74年	0	0.0%
不明	3	13.6%
合計	22	100.0%



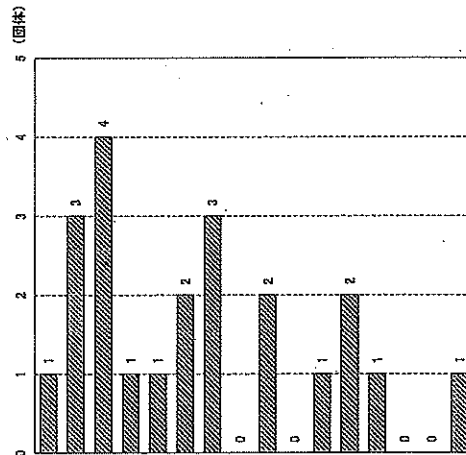
○代表者年齢【問13】

SA, n=22	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	3	13.6%
50代	2	9.1%
60代	9	40.9%
70代	5	22.7%
80代以上	3	13.6%
不明	0	0.0%
合計	22	100.0%



○会員数【問13】

SA, n=22	回答数	割合
0-9人	1	4.5%
10-19人	3	13.6%
20-29人	4	18.2%
30-39人	1	4.5%
40-49人	1	4.5%
50-99人	2	9.1%
100-199人	3	13.6%
200-299人	0	0.0%
300-399人	2	9.1%
400-499人	0	0.0%
500-999人	1	4.5%
1000-1999人	2	9.1%
2000-2999人	1	4.5%
3000-3999人	0	0.0%
4000-4999人	0	0.0%
不明	1	4.5%
合計	22	100.0%



3 調査票

第2次伊豆の国市総合計画（後期基本計画）団体アンケート

市庁で活動している地域団体、各種団体のみさんの活動内容や課題、提案、ご意見等をお伺いし、計画策定に反映するためのアンケートです。ご協力をお願いします。

問1 貴団体の名称をお書きください。

団体名	
-----	--

■貴団体の活動についてお聞きます

問2 貴団体の活動内容をお聞かせください。（5つ程度）

<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

問3 活動において困っていること、課題等をお聞かせください。

問4 今後の展望、目標についてお聞かせください。

■市政についてお聞きます

問5 以下の分野のうち、貴団体の活動に関連する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 魅力ある景観づくり	17. スポーツ活動
2. 自然と共生するふるさとづくり	18. 多文化共生
3. 環境共生	19. 子育て支援
4. 資源循環（ごみ問題、食品ロス等）	20. 健康づくり
5. 就労・雇用	21. 高齢者福祉
6. 起業・中小企業支援	22. 障がい者福祉
7. 農業の振興	23. 地域福祉
8. 商工業の振興	24. 危機管理
9. シニアプロモーション	25. 消防・救急
10. 若い世代への支援	26. 交通安全・防犯対策
11. 観光・交流	27. 安全な社会基盤
12. 歴史を活かすまちづくり	28. 公共交通網の充実
13. 文化・芸術の振興	29. 公共施設の維持管理
14. 生涯学習	30. 市民に信頼される行政運営
15. 学校教育	31. 地域コミュニティ・地域活動
16. 地域ぐるみの子育て環境づくり	

問6 問5で○をつけた分野について、市に対して何かご意見・ご要望はありますか。また、活動の中でご協力いただけることはありますか。（番号と内容を具体的に）

分野番号	ご意見・ご要望	協力できること
(記入例) 8	高校生と市内の高業活性化方策について考えたいので、担当課に協力してほしい。	イベント時の案内係、誘導ボランティア

問7 市の喫煙の課題に関して、英団体に「協力できること」はありますか、
具体的な内容がありましたら、お聞かせください。

1 伊豆の国市にしたいことをつくる	既産産業の活性化支援 (スマート農業、都市圏連携推進、ICT AI活用、施設活用、リノベーション等) 新たな雇用の創出支援 (企業参画、伊豆の国産業、東海輸送拡大、 マツダ工場、人材育成等)
2 伊豆の国市に新しい人の流れをつくる	勤れる人を増やす取組の強化 (映画ドラマ「林修平の日記」、おみやげ づくり、伊豆半島ジオパーク等) 移住・定住を増やす取組の強化 (オンライン相談、移住体験ツアー、 移住支援体制強化、移住支援会等)
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	結婚・出産しやすい環境の整備 (婚活イベント、マツダ工場、 川原町のハッピーマラソン、結婚相談所等) 子育てに対する支援の強化 (産前産後、子育てクーポン制度、 産前産後支援、産後見守りクラブ等)
4 時代に合った住みよいまちをつくる	健康を維持する取組の強化 (ウェルネスマラソン、居場所づくり、 生活習慣病予防、フレイル対策等) 持続可能なまちづくりの推進 (地域課題、高齢者対応、空き家対策、 防災対策、公共交通等)

3/4

問8 新型コロナウイルス感染症の「影響」についてお聞かせください。
(それぞれ別の項目について、あてはまる番号に○)

項目	大いに感じる	少し感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない
英団体の活動	1	2	3	4	5
地域での活動	1	2	3	4	5
市内における経済活動	1	2	3	4	5

問9 英団体の活動において、新型コロナウイルスへの「対策」をとっていますか。(具体的に)

.....

問10 SDGs (エスディーズ) についてご存知ですか。(○はひとつ)

1. 内容まで知っている (一問11へ) 2. 言葉のみ知っている 3. 知らない

(問10で、「1. 内容まで知っている」と答えた団体にお聞きします)

問11 英団体ではSDGsを認識した活動をしていますか。(○はひとつ)

1. 意識して活動している 2. 意識して活動していない

※SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。2015年9月国連サミットで採択された、すべての人々に
とってよりよい、持続可能な未来を築くための目標のこと。

問12 その他、市政全般についてご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

.....

問13 英団体の詳細についてお書きください。

設立年次	M・T・S・H・R	年	会 員 数	名 (R3年1月31日現在)
代表者名	(年 齢)	職)	記入者名	
連絡先 TEL:	Mail:			

令和3年2月26日(金)まで に返信用封筒 (切手不要) に入れてご返願ください。

4/4